



森の中で車椅子でも通ることができる木道を作るメンバー

きんたろう倶楽部木道作り

車椅子でも散策楽しい

ファミリーパーク

富山

富山市ファミリーパークの森に、車椅子やベビーカーでも通ることができる木道があるのを知っている？ 自然と親しむ活動をしているNPO法人「きんたろう倶楽部」が、多くの人から集めたお金を生かして4年前から作っていて、しかも全部手作りなんだ。きのうもメンバーが汗びっしょりになりながら板を運んだり、土に穴を掘って柱を立てたりしていたぞ。

台に打ち付ける作業もしてもらっていて、思い出にもなるんだ。

ことし中に1500坪まで延ばすのが目標なんだって。きんたろう倶楽部の中野康英さんは「木道を使って赤ちゃんからお年寄りまで、いろんな人に森を楽しんでもらいたい」って話していたぞ。木道の入り口はキリン舎の裏側にあるから行ってみてね。

30日里山題材に対談

きんたろう倶楽部は30日、富山市星井町の市角川介護予防センターで「里山リネサンス対談」吳羽丘陵からの里山回生を考える」を開く。森雅志富山市長と山本茂行ファミリーパーク名誉園長の対談や、同倶楽部の活動報告などがある。午後1時～3時半。無料。問い合わせは同倶楽部、電話076(434)1316。



ピンズを挿せ！  
シを書いて土

木道は杉板を並べて作るんだけど、2坪作るのに13枚の板が必要なんだって。活動では板1枚を千円で買ってもらうって、道は今、板850枚分、130坪まで延びているぞ。買った人には、板に絵やメッセージ